

岩手山の火山活動解説資料（平成 28 年 12 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～4、図 5-①）

柏台に設置している監視カメラによる観測では、黒倉山山頂からの噴気は 10m 以下で経過し、岩手山山頂と大地獄谷の噴気は観測されず、噴気活動は低調に経過しました。黒倉山に設置している監視カメラによる観測では、大地獄谷でごく弱い噴気が認められました。

12 日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、2016 年 4 月 5 日、2016 年 3 月 18 日及び 2015 年 1 月 21 日の観測と比較して、岩手山山頂付近に特段の変化はみられませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 5-②～④、図 6）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 7、図 9）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 1 月分）は平成 29 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

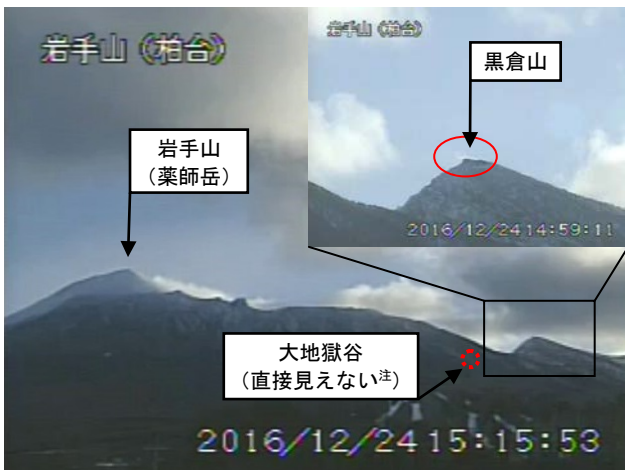


図 1 岩手山 黒倉山の噴気の状況
(12 月 24 日)

- ・ 柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置している監視カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が、黒倉山山頂の白色噴気で高さ 10m です。

注) 大地獄谷からの噴気は、高さ 200m 以上のときに柏台監視カメラで観測されます。点線赤丸が大地獄谷の位置を示します。



図 2 岩手山 大地獄谷の噴気の状況
(12 月 26 日)

- ・ 黒倉山（大地獄谷の西約 500m）に設置している監視カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が、大地獄谷のごく弱い白色噴気です。

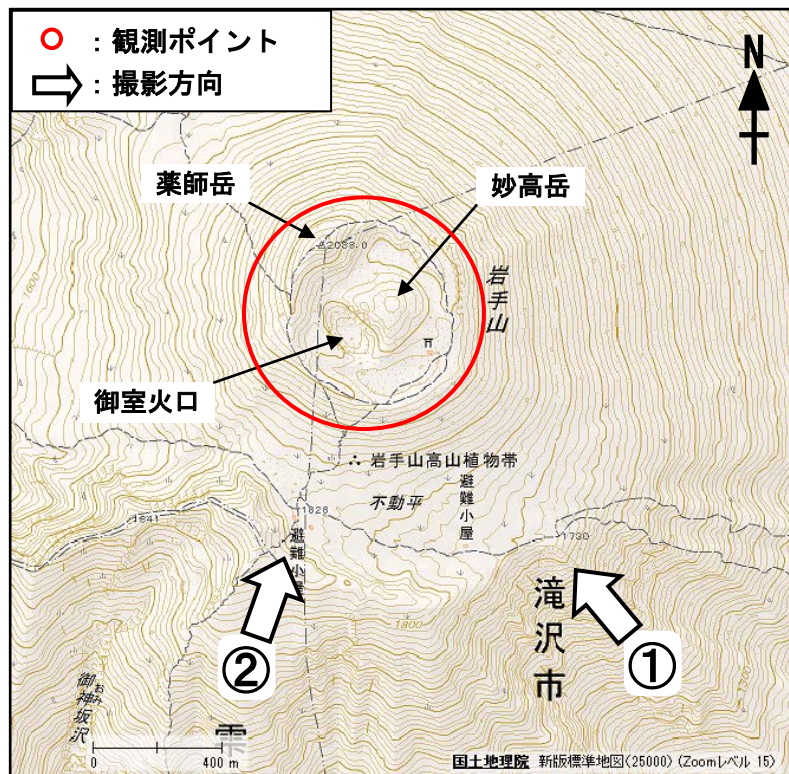


図 3 岩手山 上空からの写真及び地表面温度分布¹⁾ 撮影位置・方向

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- ・ 図中の矢印①は図 4 の 1、3、4 段目の撮影方向、矢印②は図 4 の 2 段目の撮影方向を示します。

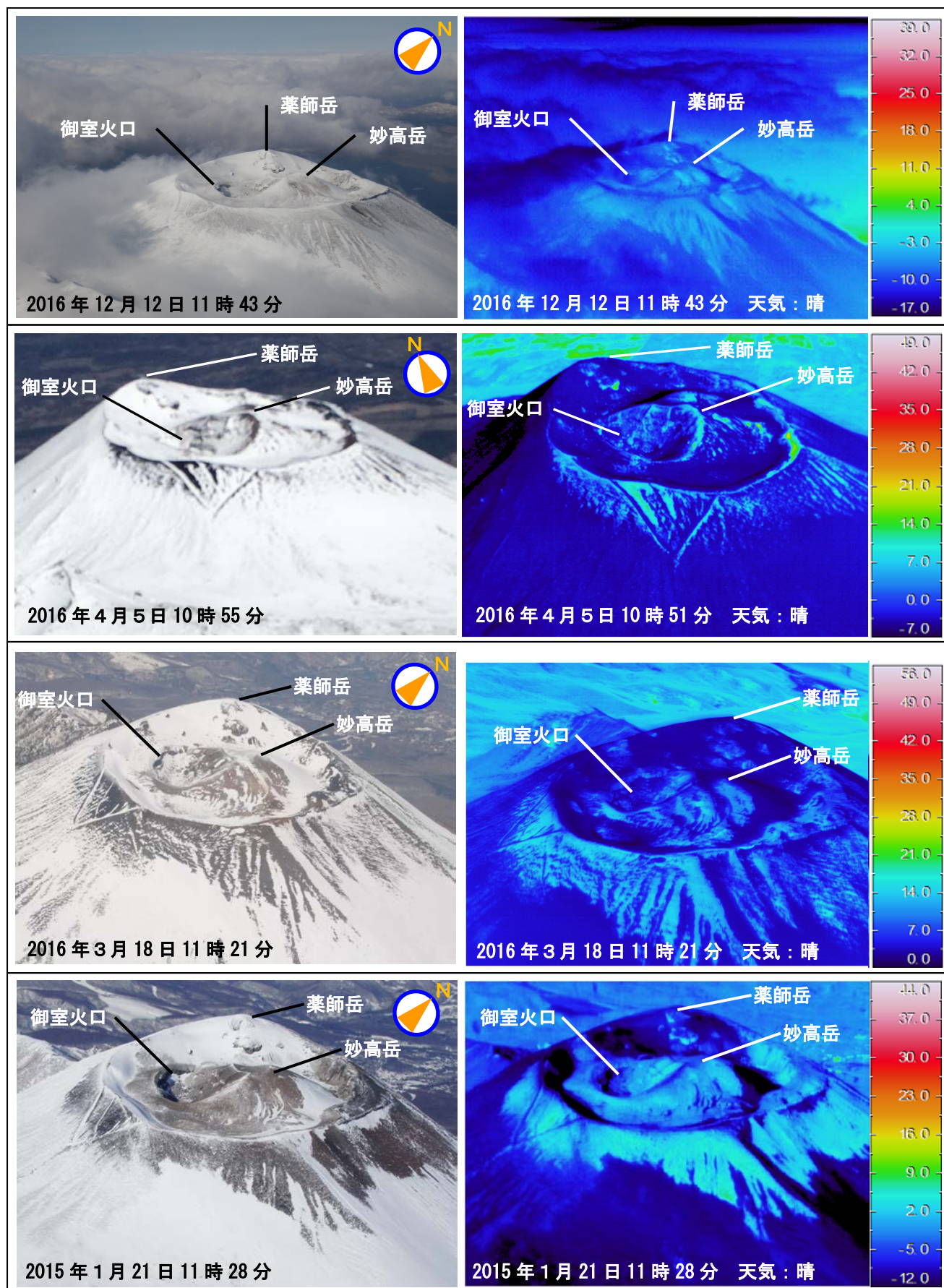


図4 岩手山 上空からの山頂部の状況と地表面温度分布

- ・2016年12月12日の観測では、それ以前に引き続き明瞭な地熱域は認められませんでした。
- ・2016年12月12日、2016年3月18日及び2015年1月21日は陸上自衛隊の協力により撮影しました。2016年4月5日は岩手県の協力により撮影しました。

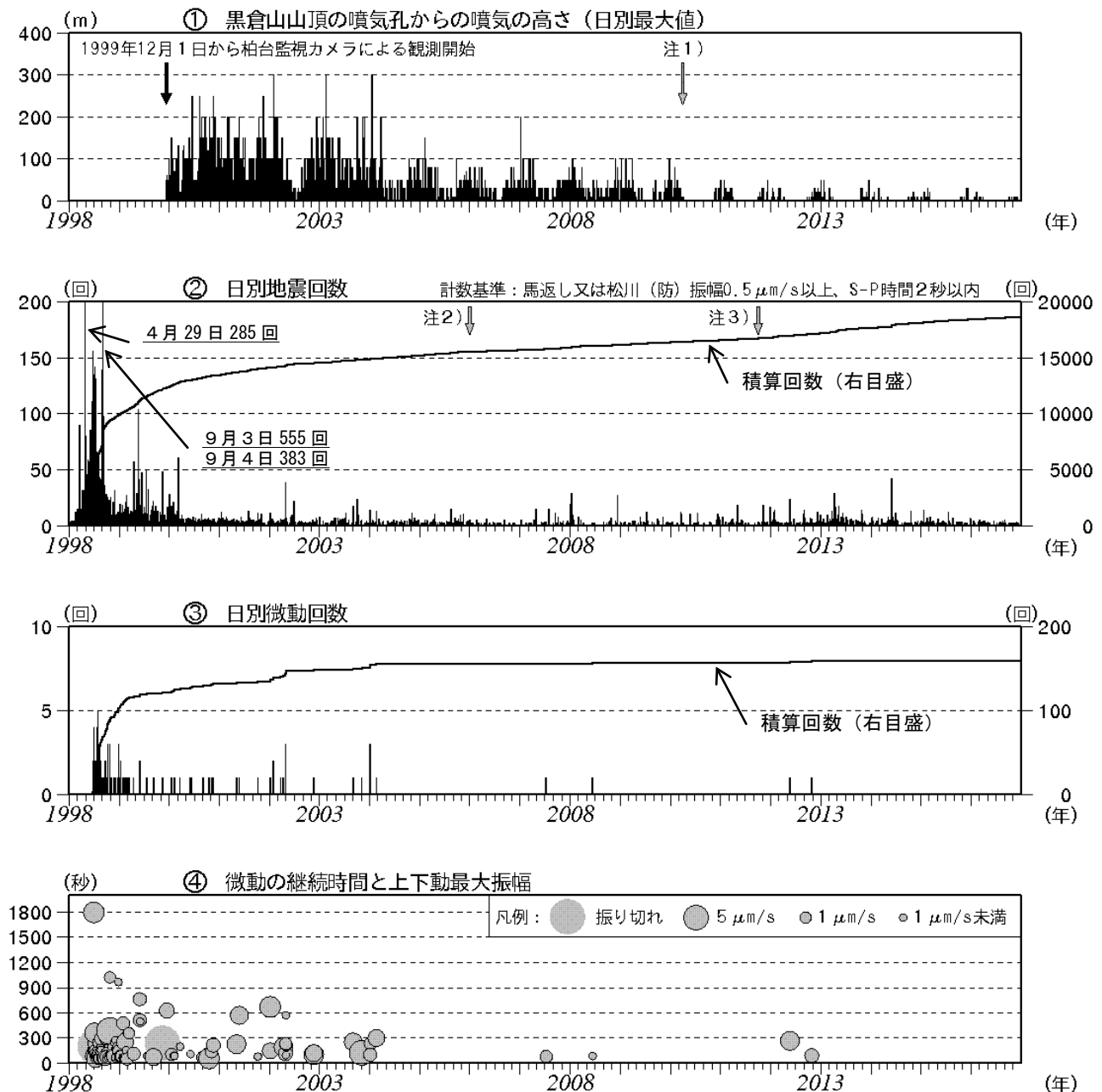


図5 岩手山 火山活動経過図（1998年1月～2016年12月）

- ・①注1) 2010年3月までは黒倉山のための観測値を、2010年4月1日以降は岩手山全体の観測値を示しています。
- ・②～④基準観測点の変更は次のとおりです。
 観測開始 1998年1月1日～ 東北大学松川観測点
 注2) 2006年1月1日～ 焼切沢観測点
 注3) 2011年10月1日～ 馬返し観測点及び防災科学技術研究所松川観測点
- ・②2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。
 （1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を含みます）

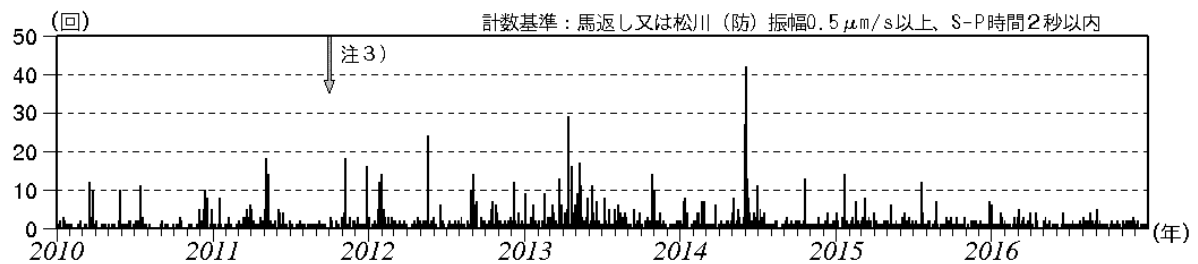


図6 岩手山 日別地震回数（2010年1月～2016年12月）

・基準観測点の変更は図5に同じです。

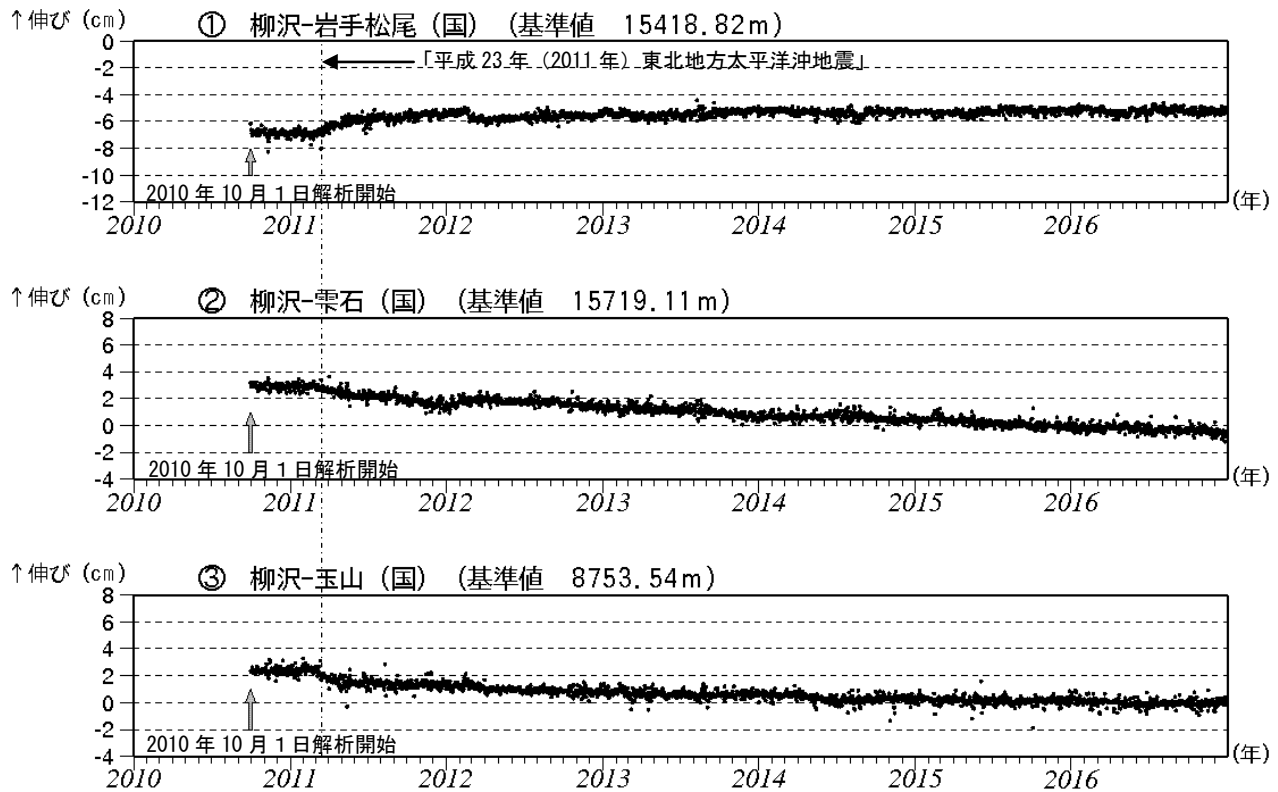


図7 岩手山 GNSS²⁾ 基線長変化図（2010年10月～2016年12月）

2) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

- ・「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～③は図9のGNSS基線①～③に対応しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

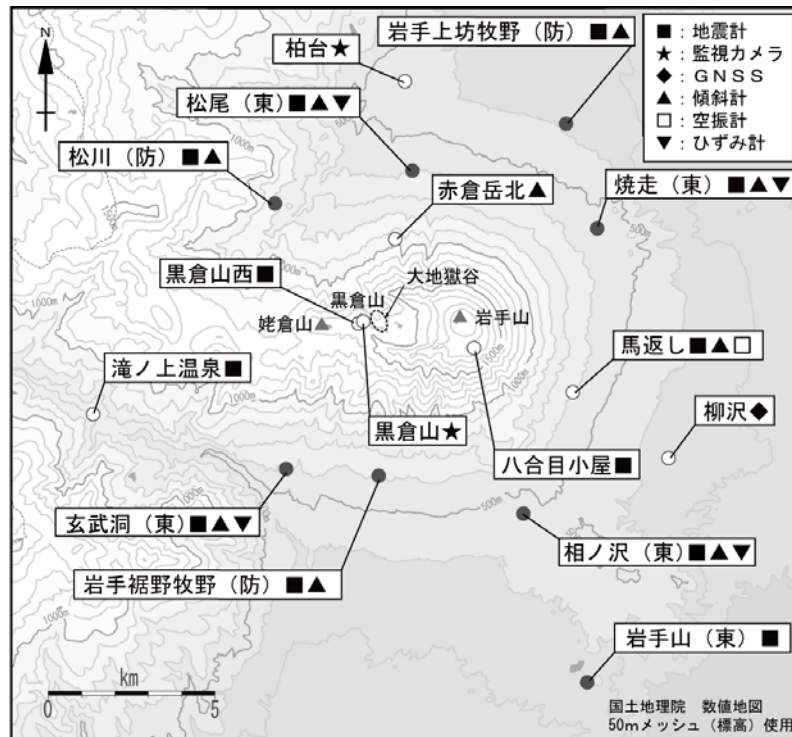


図 8 岩手山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

※黒倉山西、黒倉山、赤倉岳北：12月1日運用開始。

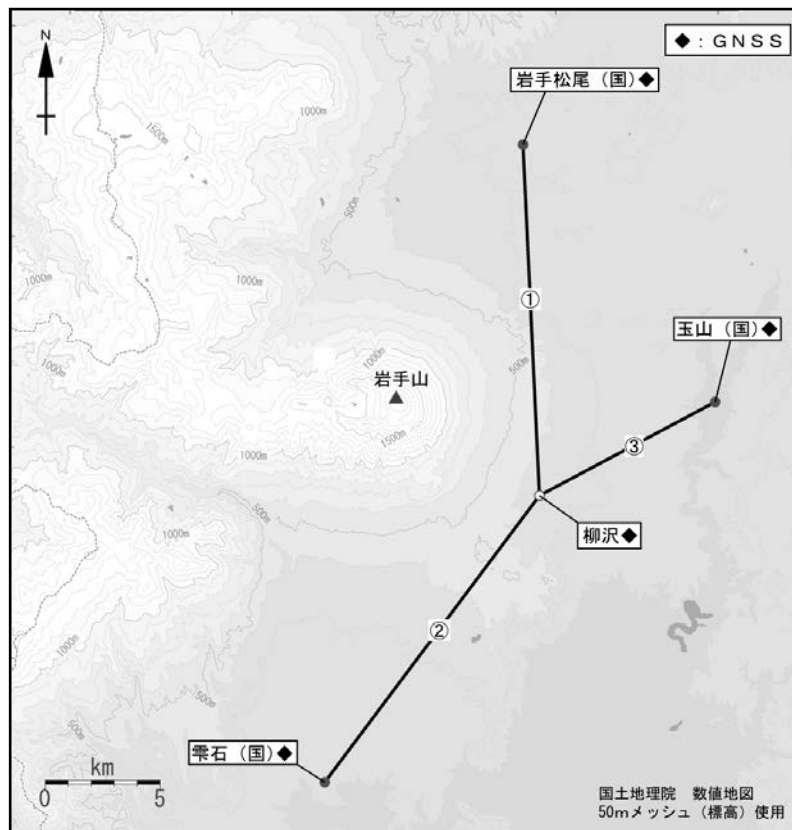


図 9 岩手山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院